

シリーズ
しあわせ
実感
まちづくり 2

このコーナーでは、各地区で縁の下
の力持ちとして頑張っている人に
スポットを当て、ご紹介しています。

第9回



⑨八幡地区の取り組み

八幡地区は市の特産である梨の栽培が盛んです。野原八幡宮の「のぼらさん」では、荘園領主の祭事「風流」楽と武家方の祭事「節頭行事」が奉納され、七五三の祭りとしても有名です。八幡地区協議会は安全で活力ある地域社会の維持と形成のため、さまざまな事業に取り組み、盆踊りの集いや健康推進大会などを開催しています。

伝統と住民同士の絆を大切に

八幡地区協議会 副会長 西田真直さん

八幡地区では、毎年6月には御田植祭、10月には野原八幡宮例大祭で県重要無形民俗文化財に指定されている風流の奉納、1月にはどんとやと地域住民で協力して、伝統を受け継いでいます。

例年8月に盆踊りの集いを行っています。今年度は中止しました。しかし、「盆踊りの集いを楽しみにしていた」との声が多かったので、11月にやはた秋祭りを開催しました。準備など大変でしたが、秋祭りは大盛況でした。楽しみにしてくれていた住民の声に励まされて良かったです。

今後は協議会の目標である「伝統息づく、心安らぐ、絆のまちづくり」を目指し、協議会メンバーが中心となって、人と人との潤滑油であるあいさつで、住民同士のつながりをより深く築いていけたらと思います。



にしだ・まなお。昭和20年生まれ。野原南区在住。野原区区长、野原南・野原北区行政協力員。趣味は囲碁と日曜大工。

八幡地区協議会 事務局長 小島敏一さん

住民に誇りに思ってもらえるような地区へ

協議会では、地区の取り組みを紹介する「やはた地区協議会便り」を作成しています。たくさんの方に読んでもらいたいので、今年度からカラーでの発行を始めました。イベントの様子が分かるように写真も多く掲載しています。読んで人に興味を持ってもらい、イベントに参加したいと思ってもらえたらうれしいですね。

地区行事以外にも、あらお荒炎祭の行灯パレードなどに協議会で参加しています。今年度は地区の子ども会や美術に関心がある人に協力してもらい、手作りの行灯でパワフル賞を受賞しました。さまざまなイベントが住民の日頃の学びの成果や才能を披露する場になればと思います。

住民に誇りに思ってもらえるような地区になるよう、これからも頑張ります。



こじま・としかず。昭和22年生まれ。井川口区在住。井川口区区长。JAたまな荒尾梨部会会員。趣味は俳句。



1 野原八幡宮秋季大祭の風流。赤い狩衣をまとい、獅子頭を被った少年が太鼓を叩きながら、笛の音に合わせて優雅に舞います。2 やはた秋祭り。ステージ発表や絵画・竹の工芸品などの展示も行われ、多くの人でにぎわいました。3 あらお荒炎祭行灯パレード。今年度は協議会でおそろいのポロシャツを着て参加しました。

荒尾市民病院 Informations

市民を愛する 市民に愛される 病院へ
Arao Municipal Hospital

荒尾市民病院 奨学金貸付制度

将来、荒尾市民病院の医師か看護師として従事する人に修学などに必要な資金を貸し付けます。詳しくは当院ホームページでご確認ください。なお、貸し付けの決定は申請書類と面接審査で決定します。

医学生奨学金制度

- 対象
 - ・大学の医学を履修する課程に在学する人
 - ・大学院の医学を履修する課程に在学し、医師免許を取得している人
- 定員 3人ほど
- 貸付額 月額20万円

看護学生奨学金制度

- 対象
 - 文部科学大臣の指定した学校、厚生労働大臣、都道府県知事が指定した養成所に在学する人
- 定員 5人ほど
- 貸付額 月額5万円

参加しませんか？
健康についての教室

◆どれも参加費無料で、地域医療研修センター（市民病院・南病棟4階）で行います。

糖尿病教室 瑞鳳会

- 日時 3月13日（金）
午後2時30分～3時30分
- テーマ 「糖尿病で老いない、ぼけない！」
- 講師 古賀愛（管理栄養士）
圖代謝・内分泌内科外来
☎63-1115

市民公開講座

- 日時 3月20日（金）
午後3時～4時
- テーマ 「薬剤師が教えるサプリメント・健康食品のあれこれ」
- 講師 村本慎悟（薬剤師）
圖看護部長室 ☎63-1115

遺伝性乳がん卵巣がん症候群（HBOC）

がんの多くは遺伝と関係なく発生します。しかし、同じ家系の中である種のがんが多発している場合は、遺伝する可能性があります。遺伝性の腫瘍は1/2の確率で次の世代へと受け継がれます。けれども、変異を受け継いだ人がみな発症するとは限りません。

乳がんや卵巣がんの5～10%は遺伝性で、その代表的なものが遺伝性乳がん卵巣がん症候群（HBOC）です。

血縁者に下記に当てはまるような人がいれば、一般の人よりもHBOCになる可能性が高いといわれています。

- ①若い年齢（40歳以下）で乳がんを発症した。
- ②年齢を問わず卵巣がん（卵管がん・腹膜がんを含む）の人。
- ③時期を問わず原発性乳がんを2個以上発症したり、乳がんと卵巣がんの両方を発症したりした。
- ④男性で乳がんの人。
- ⑤トリプルネガティブ乳がんと診断された。
- ⑥BRCA 遺伝子の変異が確認された。

リスクが高い人はそのリスクに応じた予防や検診などの対策をとることが大切です。心配な人は主治医に相談したり、遺伝カウンセリングを受けたりしましょう。当院産婦人科にもお気軽にご相談ください。

産婦人科医師 佐々木瑠美



▲乳がん検査を行うマンモグラフィ装置



▲各種がん検査などを行うMRI装置

～ 看護師・助産師・薬剤師・看護補助者 随時募集中 ～

詳しくは荒尾市民病院ホームページをご覧ください 圖市民病院 ☎63-1115